

T&M通信

～税務と経営～

2020年2月号

今月の経営チェックポイント✓

- 2月、3月決算法人の方は、賞与等決算の対策の準備をして下さい。
- 今月の祝日は、11日（火）が建国記念の日、23日（日）が天皇誕生日、24日（月）が振替休日です。



納税期限スケジュール

- 令和元年分所得税確定申告・納税の開始です。
2月17日（月）～3月16日（月）まで
※振替納税をご利用の方は、4月21日（火）が振替日になります。
- 令和元年分贈与税申告・納税の開始です。
2月3日（月）～3月16日（月）まで
- 個人事業者の令和元年分消費税・地方消費税の確定申告・納税の開始です。3月31日（水）まで
※振替納税をご利用の方は、4月23日（木）が振替日になります。
- 固定資産税（都市計画税）の第4期分の納付期限月です。
3月2日（月）まで

着眼点 「 これからの税務 」

税理士 田中 彰

新年も1カ月が経過し、はや2月となりました。カルロス・ゴーン氏の海外逃亡や中国武漢市発の新型肺炎ウィルスの世界への蔓延などあまり冴えないニュースでスタートしましたが、これからは楽しく嬉しいニュースが続き良き年になるよう期待しています。また、これまでのニュースはグローバル化の負の側面を反映しているように思いますが、いろんな困難を乗り越えて世界が繋がって行かなければならないとも思います。

さて、2020年度の税制改正大綱が閣議決定をし、あとは国会審議を経て承認されれば法制化します。大綱のうち資産税関連で一つお伝えすると、配偶者居住権および配偶者敷地利用権が合意により解除もしくは放棄により消滅し、配偶者がその対価を受け取ると譲渡所得の課税がされるというものです。これは、例えば夫が死去し夫婦で住んでいた土地を子供が相続した場合でも妻は居住し続ける権利が認められた訳ですが、その権利を子供に売却して対価を受け取れば譲渡所得課税を受けるということです。

また、前年度以前の税制改正で決定していたことですが、令和2年（2020年）から65万円の所得税青色申告控除が原則55万円に引き下げられます（10万円控除については変更ありません）。ただし、電子申告をしているか電子帳簿保存をしている場合など一定の条件を満たせば引き続き65万円の控除が受けられます。また、今年の4月から一定法人（資本金1億円超など）の税や社会保険の電子申告が義務化されます。

このように電子申告の普及などITを活用した手続きが広がり、事務の合理化・効率化が図られることは人

口減少に直面する日本にとっては特に重要であると思います。法務関連においても電子契約の普及など時間や印紙代等の経費削減が進みつつあります。しかし、そこに大きく立ちはだかる壁が我が国に根付くハンコ文化だと、最近の日経新聞記事に立て続けに出ていました。何事も困難はありますが、前に進まなければならないと思います。

●第 2 回 働き方改革関連法案 ～働き方改革発案の背景～

そもそも、働き方改革は何故誕生したのでしょうか。その名の通り労働者の働き方を改善し、心身ともに健全に長く働いてもらえるように、という取り組みのことですが、その背景にはいくつかの問題が見えます。

中でも深刻なのは【過度な長時間労働】、そして【少子高齢化による働き手の減少】です。この二つの問題は、とても密接な関係があります。

働き手の減少⇒一人あたりの業務量の増加⇒長時間 働かざるをえない状況⇒長時間労働を求められるのは働き盛りの 20 代後半～40 代⇒出産・育児年齢と重なっている⇒出生率の低下⇒働き手の減少・・・という延々と続くような悪いサイクルが今出来上がっています。

日本人の長時間労働は諸外国から問題視されており、2013 年には国連からは是正勧告を受けるほどなので、働き方改革が声高に叫ばれているわけなのです。

ザックリとした説明になってしまいましたが、以上が働き方改革発足の背景にある問題の一つです。次回からは、改めて働き方改革の内容に触れていきたいと思います。

(文責：松原 礼)

●節分について

節分には「季節を分ける」という意味があり、立春、立夏、立秋、立冬それぞれの前日のことを節分と呼んでいました。本来節分は年に 4 回あったのですが、現在では古来に中国から伝わった太陰暦の「冬から春になる日」を新しい年の正月としていた為、立春の前日が「大晦日」とされ「立春の前日」を節分としています。

2020 年の節分は 2 月 3 日（月）で、立春である 2 月 4 日（火）の前日です。二十四節気のひとつである立春の日程は、月の満ち欠けと太陽の黄道を基準にした太陰暦によって決まるため、節分の日程も毎年変動します。

豆まきは、邪気を払うために豆をまくという中国の風習が太陰暦とともに日本に伝わり、室町時代には現在の節分の風習として定着したといわれています。邪気や厄を象徴するものは「鬼（魔）」であり、豆まきは鬼を追い払うために行われていたのです。豆は「魔滅（まめ）」に通じると考えられ、京都に出現した鬼の眼（魔眼＝まめ）に向けて大豆（魔滅）を投げたら退治できたという逸話があり、これが豆まきの由来だともいわれています。

恵方巻きとは、七福神にちなんだ七種類の具材を使った巻き寿司です。恵方巻きの由来にはさまざまな説があるものの、大阪の商人が花街で節分を祝った際に、商売繁盛を願いながら食べたという説が有力なようです。無病息災や商売繁盛の運を「まるごといただく」ため、恵方巻きは恵方を向いて無言で一気に食べるのが基本とされています。

恵方とは、歳徳神といわれる金運や幸せを呼びその年の福を司る神様がいる方角のことをいいます。吉方、兄方とも書かれることがあり、その年の干支によって方角が毎年変わります。たたり神のめぐってこないもつともよい方角だといわれ、北北西、東北東、南南東、西南西のいずれかで、2020 年の恵方は「西南西」です。

(文責：井上 知己)